

平成28年度 第1回公設福祉医療センター運営懇話会会議録

開催日時	平成28年 5月26日(木) 午後1時30分～午後2時45分	
開催場所	公設宮代福祉医療センター 3階会議室	
出席者	委員	石井会長、田部副会長、高橋委員、小田桐委員、馬場委員、竹本委員、星野委員、重田委員、伊草委員、須藤委員
	事務局	石井センター長、澤田診療所長、秋山事務次長、谷内経理担当事務、岡村健康介護課長、齋藤こども未来室長、片野保健センター所長 竹花主幹
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
配布資料	次第、運営懇話会資料	
会議録作成者	竹花	

1. 開 会 (進行：片野所長)

2. あいさつ

石井センター長あいさつ

石井会長あいさつ

3. 議 事 (進行：会長)

1) 平成27年度公設宮代福祉医療センター利用状況について

(事務局より説明P1～P3)

－質疑応答－

委員：通所の短時間が増えて通所が減っているのは何か原因があるのか。

事務局：平成27年度から介護報酬の改訂があり、要支援1・2の方は1日6時間から8時間の利用ではなく、原則4時間未満の利用が望ましいとのコメントが厚生労働省から発表されたので、今まで1日で利用されていた要支援1・2の方々について短時間に動いていただいた結果である。移っていただいた後、新規の方が予想以上に増えたため、1日の利用の方は減ってしまった。

委員：要支援の方のサービスが減少させられたことになっているが。

事務局：来年度から正式に開始する地域支援事業に移行したという考えである。

委員：今でも1日来ていた人が短時間に回されているが、来年度はさらに厳しくな

ることか

事務局：基本的には、今までの介護予防のデイサービスを受けていただいているものは継続していただくことになる。その他、専門の方でなくてもできる介護保険のメニューにないもので対応できる場合もある。国は、そのような仕組みを作りなさいと言っている。来年度からスタートするが、当面の間は介護保険事業者から提供を受けているサービスが基本となると思う。時間をかけて、今ないサービスを担い手と一緒にセットで考えることが国の方針である。来年度のスタートから、完璧なシステムが出来上がっているという考えではない。ニーズもあるが支えていく側を育てていかないと提供ができない。2025年の団塊の世代の方が全て75歳以上になる年が、色々なものがピークになる。そのため、地域で支えあう仕組みづくりを各市町村で作りにさいということが法律改正の大きな目的である。そのために我々も努力している。それにあたっては、事業所の皆さんはもとより、ボランティアの皆さん、社会福祉協議会の方も含め、色々な方々のご協力をいただきながら仕組みづくりを進めていきたい。国の考えは、高齢者の方も元気な方は支えて欲しいという新たな視点である。元気な方はより元気に、なるべく介護が必要になる時期を遅らせようという考えである。また、もう一つの理由は、保険給付の伸びである。その費用を抑えるということである。そのためには、閉じこもってはいけないので、運動をしたり社会参加をしたりすることで元気になっていただき、介護保険をなるべく押さえていきましょう。ということが国のもう一つの大きな理由である。このままだと制度がパンクしてしまう。平成12年に介護保険制度が始まって15～6年経つが、費用は4倍を超えている。認定を受けている方も約300名から1,300名位になっている。法律で決められたので町もやらなければならない。

委員：以前、診療所では長期入院はダメということがあったが。

事務局：原則は長期入院ではなく、病気があり、泊まって治療をして帰るとというのがBEDの使い方である。

委員：人間ドックはどのような項目を検査しているか。

事務局：一般的な血液検査、尿検査、レントゲン検査、心電図検査、視力、聴力、腹部エコー、追加項目で骨密度とか頸動脈のエコーとかある。胃の検診については、バリウム検査と胃カメラとあるが、それぞれ料金は違ってくる。

事務局：訪問看護は休止状態だと思うが、今後の見通しは。

事務局：看護師の募集は引き続き行っているが応募がない状況である。看護師の体制が整えば再開を考えている。内部も、ほぼギリギリの状態であり異動も出来ない状況であるため、募集をかけて応募があつて、そこからになると考えて欲しい。

事務局：地域医療振興協会にも看護学校があると思うが、その卒業生とか考えられ

ないのか。

事務局：協会埼玉・奈良と2校を持っているが、それだけ看護師が不足しているため学校を持っているということである。埼玉でも、全国の色々な地域から集まっており、卒業したらそこへ帰って行く。また、六花で行っている事業を考えると、新卒の看護師では少し難しいと考えている。

2) 平成27年度公設宮代福祉医療センター損益計算書について

(事務局より説明P4-P5)

－質疑応答－

委員：昨年度に比べると給料が上がっている。勤続年数が増えると給料が上がると思うが、給料が上がって賞与が下がっているのは何故か

事務局：職員の昇給分はある。それとは別に、昨年退職した職員分の人数を確保できなかったため、トータルで見ると給料は上昇している。職員数は減っているが非常勤職員で入職してもらい対応している部分もある。賞与対象職員が減ったのでこのような状況になっている。

委員：税引き後の数字を見ると、昨年度の倍ぐらいになっているので、大分努力されたことは分かる。全体の入所とか診療所の収益では大きく数字が変わっていないのに、ここの数字が変わるのは内部努力が大きいことが分かる。

事務局：大きく減少しているのが水道光熱費である。これは、町の担当者とも話をして、売電事業者に切り替えたところこれだけの数字が出た。しかし、3月にこの事業所が解散してしまった。そのため、今年度は従来までの東京電力に戻した。

事務局：平成27年度から介護報酬の改定があったと思うが、当初の見込では介護報酬が落ち込むことが予測されていたが、決算で見ると入所が増えているが、実態はどうだったのか。

事務局：同じ状況で比較すると、計算上は700万円～1000万円の赤字になったと思う。そのため、利用者を増やすことを考えた。入所で延べ717名のプラス、通所でも延べ222名のプラスとなり、この結果がマイナスではなくプラスになった。

事務局：そうすると、平成26年度と同じ人数だったらマイナスになったということか。

事務局：その通りである。入所の単価は大きくは下がってはいなかった。ただ、通所が大きく下がってしまった。平成27年度は通所のマイナス分を入所がカバーしてプラスになった。

3) 平成27年度公設宮代福祉医療センター改善内容

(事務局より説明P6-P7)

－質疑応答－

- 委員：リハビリのスタッフが減少したのか。通所のリハビリが集団でやり始めたと聞いた。
- 事務局：今年度からであるが、それはスタッフが減ったからではなく、27年度の改定の中で通所リハビリに関しては、ずっと同じサービスを使うのではなく、その方の状況がよくなったら、状況に合わせたサービスを使うという形である。回復し、軽くなった方は自分で出来る内容のプログラムにして維持をしていただき、下がれば下がった内容のプログラムを提供するということである。また、現段階であまり状態が良くない方には、職員が重点的に入り手厚くするといった内容としている。今までは、状態に関係なく一律に手厚く行っていたが、その方法だとそもそもの趣旨から外れてしまう。そのため、状態を把握し、その状態に合わせたサービスを提供することが求められてくることを前提に、4月からそのような対応をさせていただいている。
- 委員：利用者さんもスタッフの方に言いにくいもので、ボランティアの私たちに言ってくる場合があるので聞いた。診療報酬とは関係ないのか。
- 事務局：診療報酬とは関係ない。また、利用者さんにはその話はしてはいる。今度の30年の改定ではもっと踏み込んだ内容になるとも言われているので、それに向けて体制を作っていくながら、利用者さんにも説明し理解してもらうように努めていく。
- 委員：利用者さんは、個別から集団に変わったことに対して、自分のレベルが上がったとかではなく、サービスが低下したと考えるかもしれない。
- 事務局：基本的にサービスが低下したと思える人は、状態が良いと思っていただいている良い人である。六花の通所の中ではレベルの高い人である。
- 委員：そのような話は前もってボランティアの人にも話して欲しい。
- 事務局：今後は説明する。
- 委員：スタッフに言いにくいことを言ってきた時等、スタッフの説明とボランティアの我々の説明が違って困るので、制度が変わる時には説明して欲しい。
- 事務局：今後は相談させていただく。
- 委員：予防接種の告知はどのようにしているのか。
- 事務局：保健センターガイド、広報、個別通知でもお知らせしている。

4) 平成28年度公設宮代福祉医療センター診療体制

(事務局より説明P8)

－質疑応答－

- 委員：整形外科の診療日を増やして欲しい。
- 事務局：振興協会の中でも充足されていないところもあり、非常に難しい。

5) 公設宮代福祉医療センター運営に関する意見・要望について

委員：インフルエンザの検査キットで24時間経過しなくても分かる検査キットの導入は検討しないのか。

事務局：検討したことはあるが、検査中15分間は1人分のものしかできず次のことが出来ない。シーズン中は3人～4人同時に検査する必要があり、そのキットでは効率が悪いのではないかという判断をした。

6) 交流事業について

第1回7月6日(水) 10時～ 宮代保育園

4. 閉会